



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2010年（平成22年）10月15日号 No. 1509

目次

■ ロシアビジネス戦略の新展開 菅原 信夫・上村 雅幸 1	
—代理店および駐在の諸問題—	
■ キーパーソン 11	
サハリンに新総領事／11	
■ トピックス 11	
ティラドの合弁が稼働／11	
センコン物流とロシア物流会社が業務提携／12	
カネボウがロシア子会社にカウンセラー派遣／12	
■ エトセトラ 12	
「第4回日露投資フォーラム」のご案内／12	
「ロシア・ウクライナ投資セミナー」のご案内／13	
セミナー「ベラルーシの投資・ビジネスの可能性」のご案内／13	

ロシアビジネス戦略の新展開 —代理店および駐在の諸問題—

はじめに

2009年の大幅なマイナス成長から脱却したロシアの経済には好転の兆しが見え始め、ロシアビジネスを展開する日系企業の多くは、新たな成長戦略の検討段階に入っている。金融危機後のロシア市場における商品の流通経路や現地代理店政策についても、従来とは異なるアプローチを検討する動きがみられ、また、外国人駐在員に関する税制・法制度の変更に対応した人材戦略の見直しも進められている。

そこで当会では10月5日、これらの事情に詳しいスガハラアソシエーツ代表取締役の菅原信夫氏、ミナト国際コンサルティング代表取締役の上村雅幸氏を招き、「ロシアビジネス戦略の新展開」と題したメンバーズ・ブリーフを開催した。現在のロシア経済はどのような状況にあるのか、時代に即した代理店政策をどう進めていくべきか、最新のロシア駐在員に関する税務・法務にいかに対応すべきか。両氏の報告は、日本からは見えない現地の状況を知る貴重な機会となった。ここにその概要を掲載したい。なお、スガハラアソシエーツとミナト国際コンサルティングは協力関係にあり、モスクワおよび東京を拠点として、日本企業のロシアビジネスを様々な面からサポートしている（連絡先は後掲）。